

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた  
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 新潟市立白新中学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )  
 住所 〒951-8133  
新潟市中央区川岸町2丁目4番地  
 E-mail : j303hakushin@city-niigata.ed.jp  
 Website : http://www.hakushin.city-niigata.ed.jp/  
 児童生徒数：男子 121名 女子 101名 合計 222名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ  
いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

当校では、新潟の過去について知り、先人達が築き上げてきた郷土が直面している自然、人権・福祉、地域・国際にかかわる今日的な問題から、新潟の現在を見つめ、新潟の未来のあり方について提言する追究活動を行っている。湊町新潟が江戸時代には人口が日本一になったり、開港五港の一つに指定されるほど栄えたりしたという輝かしい過去を知ること、郷土新潟に誇りを持ち、人口流出や2014年問題など様々な課題を抱えている新潟の未来に向けて、Think Globally, Act Locallyの視点から、自分に何ができるか追究している。

**【具体的実践事項】**

学年ごとに、段階的に社会へのかかわり方が見出せるよう指導した。

1年生：追究の仕方を習得

新潟市の過去についての追究

・習得した追究の仕方をういて、「新潟市はなぜ県庁所在地になったのか」をテーマに、新潟市の過去について調査した。

・自分の特性を知り、職業に関する知識を深め、「未来に種をまこう」というテーマで、「働くこと」について自分たちなりに考え、身近な大人にインタビューしたり、3日間の職場体験を行った。

2年生：Think Globally, Act Locallyの視点から、韓国修学旅行に向け、異文化、環境、自然、人権・福祉など興味のある観点から、テーマを設定し、韓国留学生との交流会を通して、国際人としてコミュニケーション能力の育成を図った。

3年生：生き方とかかわった自分なりの解決策を明らかにする活動。

・修学旅行で、過疎地（山梨県）、過密地（東京）をフィールドとして、それらの地域での問題点や取組、格差の実態を調査した。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（